

部局名	教育委員会	所属名	指導課	所属長名	三橋 勝則	電 話	481-0301
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3877		事務事業名称	ふれあい音楽会開催事業					短縮コード	経常		臨時	3877
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		実施計画							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
平成13年度より「八千代市子ども憲章」の制定を記念してふれあい音楽会開催事業を開始した。「夢いっぱいふれあいコンサート」については例年実行委員会を組織し、市民体育館において小中高校生が参加して実施されている。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
参加校、人数が年々増加しており、内容を充実させて継続する必要がある。					大項目（節）	01	学校教育						
					中 項 目	02	義務教育						
					小項目（施策）	02	教育内容の充実						
					細 項 目	01	学習・生徒指導の充実						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成13年4月 ～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	小中学校児童生徒、及び教員							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 小学校10校、中学校10校、高校1校が参加し、合同でコンサートを実施。							
	※平成19年度に計画していること： 前年度と同程度以上の規模でコンサートを実施。							
意図 （何を狙っているのか）	八千代市子ども憲章を広く市民に広め、制定の意義を高める。小・中・高等学校が合同で演奏することにより交流を深め、豊かな情操と「ふるさと八千代」意識を高める。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	情操を養い、豊かな心の育成をはかる。 他校（各地域の小中学校、高等学校）との交流から「ふるさと八千代」の意識を強くする。							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	小中学校児童生徒数	人	15,367	15,240	15,381	15,834	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	参加児童生徒数	人	952	950	821	850	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	参加児童生徒数／小中学校児童生徒数	%	6.2	6.2	5.3	5.4	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3877	事務事業名称	ふれあい音楽会開催事業				所属名	指導課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			低コストのもとで実施しているが、より充実した事業運営のためにも予算の拡充を含め、検討していきたい。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			ボランティア的な運営での開催であるため	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
市民から好評で、毎年１０００人以上の観客が集まっている。「子ども憲章推進事業」であることから社会教育課、青少年課と連携して開催していくことが望まれる。									

所属長コメント	小・中・高校の児童生徒が一堂に会し、創り上げるこのコンサートは子供たちの活動として、多くの市民に大きな感動を与える事業といえる。今後もより充実した事業となるよう検討を加えながら展開していきたい。								
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続			費用対効果を検証し推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									